

# 夢中で働く人を増やし、住み継がれるまちに

八幡平市まちの人事部事業を受託  
Aqsh合同会社 代表社員

## 塚田 崇博 さん

つかだ・たかひろ 40歳 〓わし森〓



昭和55年生まれ。京都府出身。平成9年に移住していた父の暮らしにあこがれ、29年に転入。現在は両親との3人暮らし。趣味はバイクツーリングや温泉宿巡り、ゲームなどで最近ではキャンプにもはまっている。座右の銘は「至誠を尽くす」(孟子の書より)。

「好きな言葉は『夢中』。夢中は努力に勝るから」と笑顔を見せるのは、令和2年度からの市の新規事業「八幡平市まちの人事部」を受託したAqsh合同会社代表社員の塚田崇博さん。市内企業の人材に関するコンサルティングを行う。「人口減少の主因である若年層の流出を抑制し、八幡平市を住み継がれるまちにしていきたい」と思いを抱く。

地元京都の大学に通いながら、大手派遣会社に所属する派遣社員として働いていた時、勤めていた家電量販店が閉店。次の勤務先をなかなか探してくれない派遣会社に不信感を抱いた。それなら自分が人との関わりを大切にしたい会社を作ろうと、卒業後に販売職に特化した派遣会社(株)ビー・グループを大阪に設立した。

父に会いに八幡平市には年1回程度来ていた。近くの山で山菜やキノコを採り、家の畑で野菜や果樹を育て、岩手山を毎日眺めて過ごす父の生き方を見ているうちに、自分もここで暮らしたいと思うようになった。立ち上げた派遣会社を28年に引き渡し、八幡平市に転入。盛岡で働いていた令和元年にスパルタキャンプ

に参加した。起業志民プロジェクトの「面白いこと以外やるの禁止」という考えに共感。「人材会社の経験を生かした事業を八幡平市でしたい」という思いが生まれ、本年4月にAqsh合同会社を立ち上げた。

「スパルタキャンプで学んだことを生かし、新技術を人材採用や人材育成に取り入れて、これまでに実現できなかったサービスを創ること」と夢は大きい。「まずは、市内企業やそこで働く人との関係を築くことから。私のように八幡平市に移住する人が増えるよう、事業を通じ、夢中で働く人を増やし続けたい」と息を弾ませる。

### ◆八幡平市まちの人事部事業とは

本市の産業界全体を多数の事業部を有する一つの大きな企業体に見立て、希望する全ての事業者の採用、育成、定着といった人事にまつわる機能を支援します。経営資源の不足する中小企業にとって手薄になりがちで、人事部の機能をシェアすることで、人材不足を解消するとともに、就職を機にした市外への人材流出を抑制することを目的としています。(公式サイト <https://jinji-hachimantai.com/>)

**【広告】**

**君のロボットが  
いま動き出す!**

小学校から始める  
プログラミング! 英会話

年齢や回数に応じたコースがありますので、安心して学べます!  
子供だけでも、大人と一緒にでもお気軽にお問合せください!

自分で組み立ててプログラムで動かそう!  
無料体験もあるよ!

STEM KIDS 八幡平市大更 23-100-1 (養老乃瀧の入口)  
TEL.080-6034-0742  
Iwate サイモン先生と一緒に学ぼう!

**■編集後記**

▽知識がなくても記事を作るためには、関連資料を読んで、どうすれば伝えやすいのか勉強します。今回はマイナポイント。5千円+αのニンジンのおかげで、夏休み明けでもスムーズにやる気スイッチ入れられました。必要がないので記事には書きませんが、αがミソです。▽中総体の取材で、地元の子たちが一生懸命頑張る姿を見ると、この試合を勝つために重ねてきた努力や気持ちが見えるようで胸が熱くなりました。勝ててうれしかった、負けて悔しかった、結果はさまざまですが、その思いが自分を成長させる宝物なんだと感じました。

